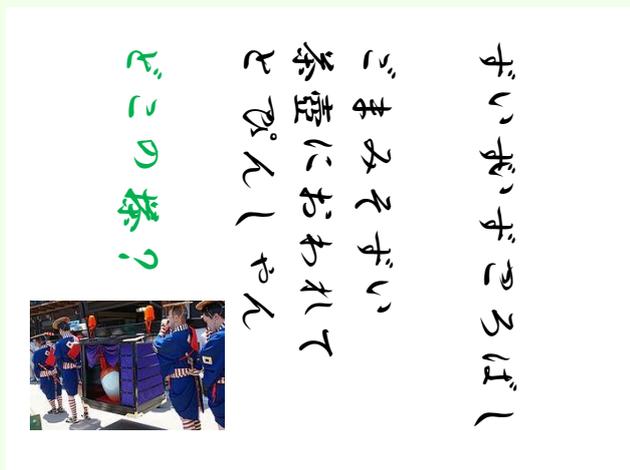


講座名	緑を楽しむ講座 習志野 [お茶の話]～日本編～		
開催日時	2024年 7月 13日 (土) 10時 ~ 12時		
開催場所	習志野市 市民プラザ大久保	一般参加者	17名

活動概要

今年1月に実施した[お茶の話 ~世界編~]の続編で日本編です。  
 中国から日本にお茶（最初は薬）として団茶の形（固形）でもちこまれました。  
 非常に高価なもので僧、貴族の間で、削って粉にしたあと飲まれていました。  
 その後は年代がかわるにつれ武士、町人と一般にひろがっていきました。  
 茶も固形のものから、緑茶のような飲茶の風習がひろまり、江戸時代初めに現在につながる煎茶がうまれました。  
 武士の質素剛健の気風が禅宗の教えと合致し長く武家政権で支持されていくこととなります。  
 日本人の美意識も平安時代の[みやび]から[わび、さび]へ変化し、やがて[わび茶]へとつながります。  
 我たちの日常に[茶]のつく言葉は多く使用されています。  
 [茶柱がたつ]、[おちのこさいさい]、[お茶を濁す]などです。  
 お茶の美味しい飲み方、相性の良い食事などもお話しました。



千利休の茶室

**質素・平等**  
 小間(こま): 質素  
 にじり口: 同等・同格  
 藁壁: 飾らない心  
 床柱: 赤松

**思いやり**  
 天井の高さ  
 風炉 炭  
 立花  
 茶菓子

国宝 待庵(たいあん)



講師 (チーフ講師) 森池 正典

本サイトの記事・画像等の無断転載は禁じます。

(作成：森池 正典) ver2024